



注意事項と制約事項

- [注意事項と制約事項, on page 1](#)

注意事項と制約事項

Cisco DCNM のインストールとアップグレードのためのガイドラインと制限は以下のとおりです。

一般的なガイドラインと制限事項

- 次のパスワード要件に従います。要件に従わない場合、DCNM アプリケーションは適切に機能しない場合があります。
 - 最小でも 8 文字を含み、1 個のアルファベットと 1 個の数字を含む必要があります。
 - アルファベット、数字、特殊文字 (-_#@&\$ など) の組み合わせを含むことができます。
 - パスワードは、`%^=&~.*\'' <SPACE>` を除くすべての特殊文字を使用できます。
 - アップグレードした後で、新しい `sysadmin` パスワードを使用して、DCNM サーバにログインできます。しかし、Web UI にログインするには、古い DCNM パスワードを使用する必要があります。
 - 入力されている新しい管理パスワードは、次のシナリオで使用されています。
 - —コンソールを経由して DCNM アプライアンスにアクセスします。
 - —SSH を経由してアプライアンスにアクセスします。
 - —アプライアンスで実行されているアプリケーション (例 : Postgres DBMS)
- DCNM をインストールするときに、起動プロセスを中断しないでください (Ctrl+ALT + DELETE キーを押すなど)。中断する場合は、インストールプロセスを再起動する必要があります。

- インストールまたはアップグレード後、そして Cisco DCNM アプライアンスでその他の操作を実行する前に、タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの設定には NTP サーバを使用します。
- ネイティブ HA セットアップで実行中の Postgres データベースのステータスを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
dcnm# su - postgres -c
dcnm# pg_ctl -D /usr/local/cisco/dcm/db/data status
```

systemctl コマンドは使用しないでください。

- ハッシュ (#) 記号でパスワードを開始しないでください。Cisco DCNM は、# 記号で始まるパスワードを暗号化されたテキストと見なします。

新規インストール

- 仮想アプライアンス (OVA/ISO) の場合、インストーラはオペレーティング システムと Cisco DCNM コンポーネントをインストールします。
- DCNM OVA は、vSphere クライアントを ESXi サーバに直接接続することで展開できます。

アップグレード

- 古い Performance Manager (PM) データを破棄し、DCNM リリース 11.4(1) へのアップグレードを続行するように選択できます。Performance Manager データをドロップする方法については、[リリース 11.4\(1\) へのアップグレード前の Performance Manager のデータ管理](#)を参照してください。リリース 11.4(1) にアップグレードする間に、古い PM データを維持することにした場合、詳細について、Cisco TAC に連絡してください。
- SSH セッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。
- アップグレードする前に、以前のリリースのテレメトリを無効にします。
- コンピューティングノードを展開する前に、テレメトリを無効にします。コンピューティングノードを展開後、テレメトリを有効にできます。
ネイティブ HA モードの DCNM の場合、テレメトリは 3 個のコンピューティングノードのみでサポートされます。
- Network Insights アプリケーションを実行する必要がある場合、3 個のコンピューティングノードをインストールする必要があります。
- インターフェイス設定を変更する前に、テレメトリを無効にします。設定を変更後、テレメトリを有効にできます。
- バックアップと復元プロセスの間、コンピューティングノードはバックアップにも含まれます。新しいコンピューティングを展開後、コンピューティングノードでバックアップを復元できます。

バックアップがなかった場合、3 コンピューティング ノードを接続解除し、すべてのコンピューティング ノードでデータを消去します。Cisco DCNM Web Client UI で、[アプリケーション (Application)] > [コンピューティング (Compute)] に移動します。[+] アイコンを選択して、コンピューティング ノードに参加します。

- コンピューティング ノードでデータを消去するには、SSH セッションを通してコンピューティング ノードにログオンして、**rm -rf /var/afw/vols/data** コマンドを使用してデータを消去します。



Note すべてのコンピューティング ノードで上のコマンドを個別に実行し、データを消去する必要があります。

- アップグレード後に NIR アプリケーションを起動する前に、DCNM Web UI で [アプリケーション (Application)] > [設定 (Preferences)] を選択します。必要に応じてネットワーク設定を変更します。アップグレード後にファブリックのテレメトリを有効にする前にネットワーク設定を変更しないと、設定は完了しません。この問題を解決するには、NIR アプリを停止し、ネットワーク設定を変更してからアプリを再起動する必要があります。

